

保険金・給付金請求 QRコード付き診断書ソリューション



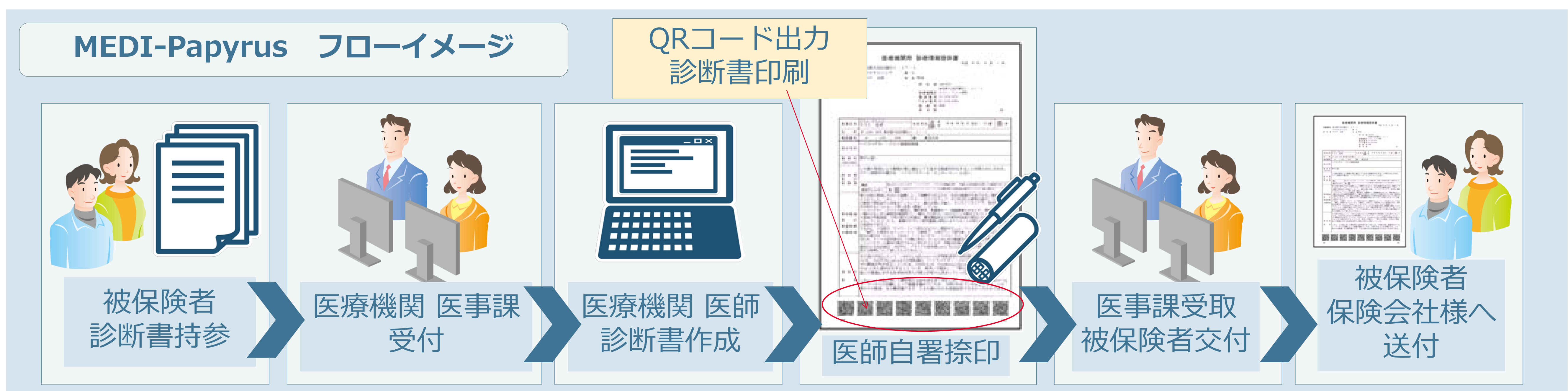
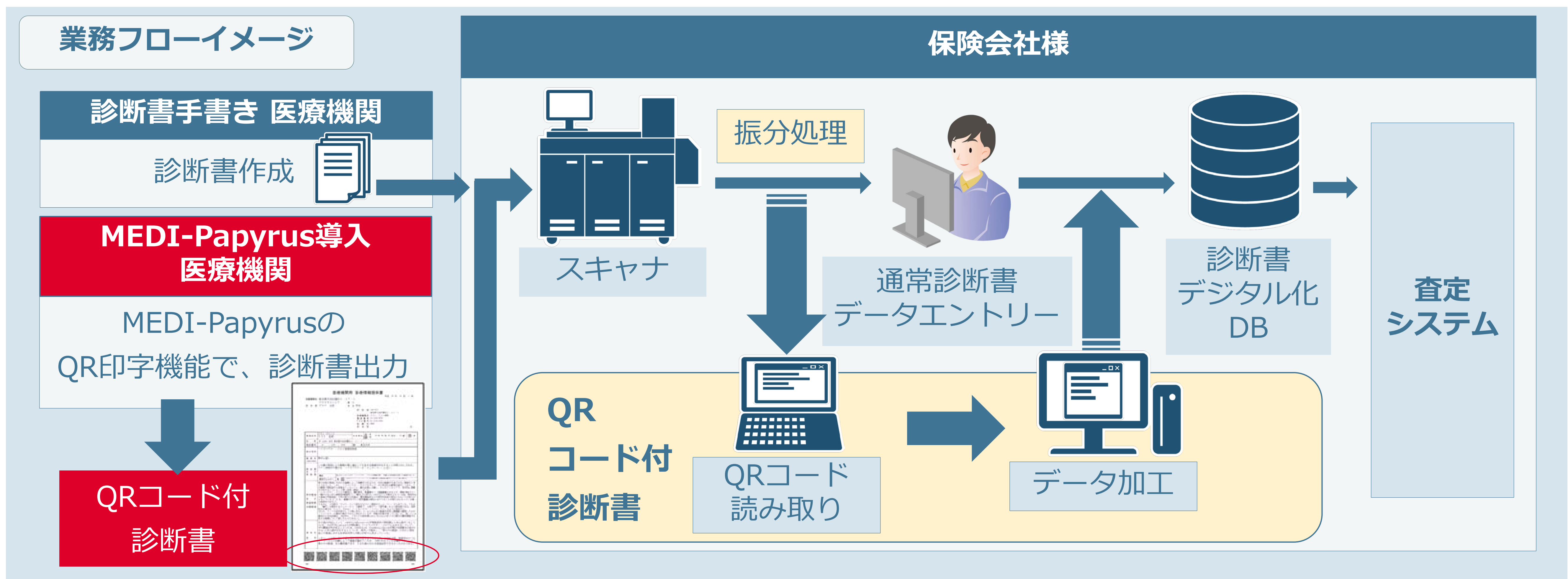
QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

- 医療機関にて医師が入力した診断書情報をそのままQRコードに格納します。
- 診断書に印字されたQRコードを読み取ることで、診断書のデジタル化を「速く」「安く」「正確に」実現します。

特徴

- スキャニング時に診断書情報をデジタル化し査定スピードを向上
- データエントリーよりも安い価格設定
- 人手を介さないデジタル化によるデータ精度の向上

ソリューションイメージ



導入メリットと事例

診断書デジタル化ソリューションを導入することによって得られるメリットは下記に記載の通りです。

速い

自動読取で
SPEED UP!

メリット

1

診断書のデジタル化作業を瞬時に対応

- デジタル化で必要となる「データエントリー」「入力検証」「修正」等の工程が不要
- QRコードによるデジタル化は瞬時におこなえるため後続処理へ即時連携 ⇒「支払いの早期化」または「査定時間の拡大（査定の充実）」の可能性

安い

デジタル化
コスト

CUT

メリット

2

デジタル化コストの低減

- 一般的なデータエントリーによるデジタル化に比べて安い価格設定

正確

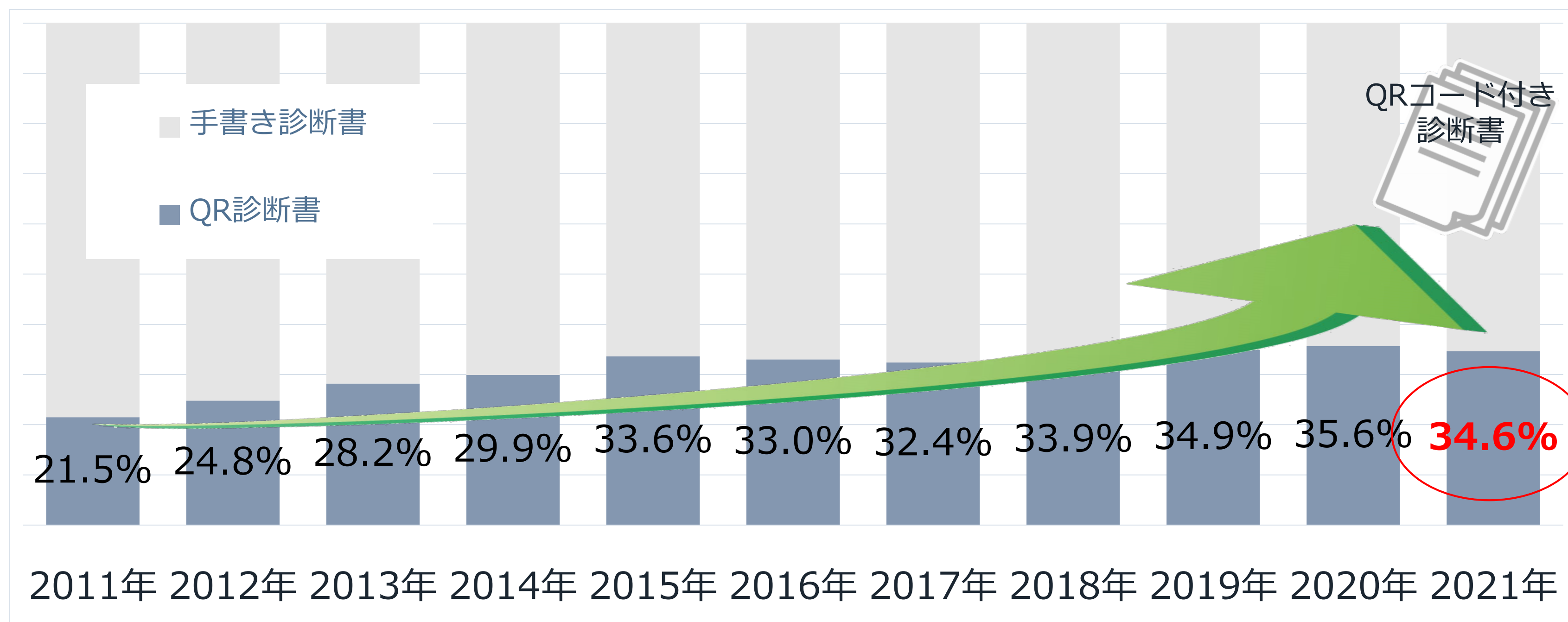
メリット

3

誤読、誤入力の可能性の排除

- 医師が入力したデータをそのままQRコードへ格納
- QRコードを読み取るだけで人手を介さずデジタル化

(A生命保険会社様) 2010年5月より発行数の多い「入院・手術診断書」をQRコード付診断書へ



導入実績

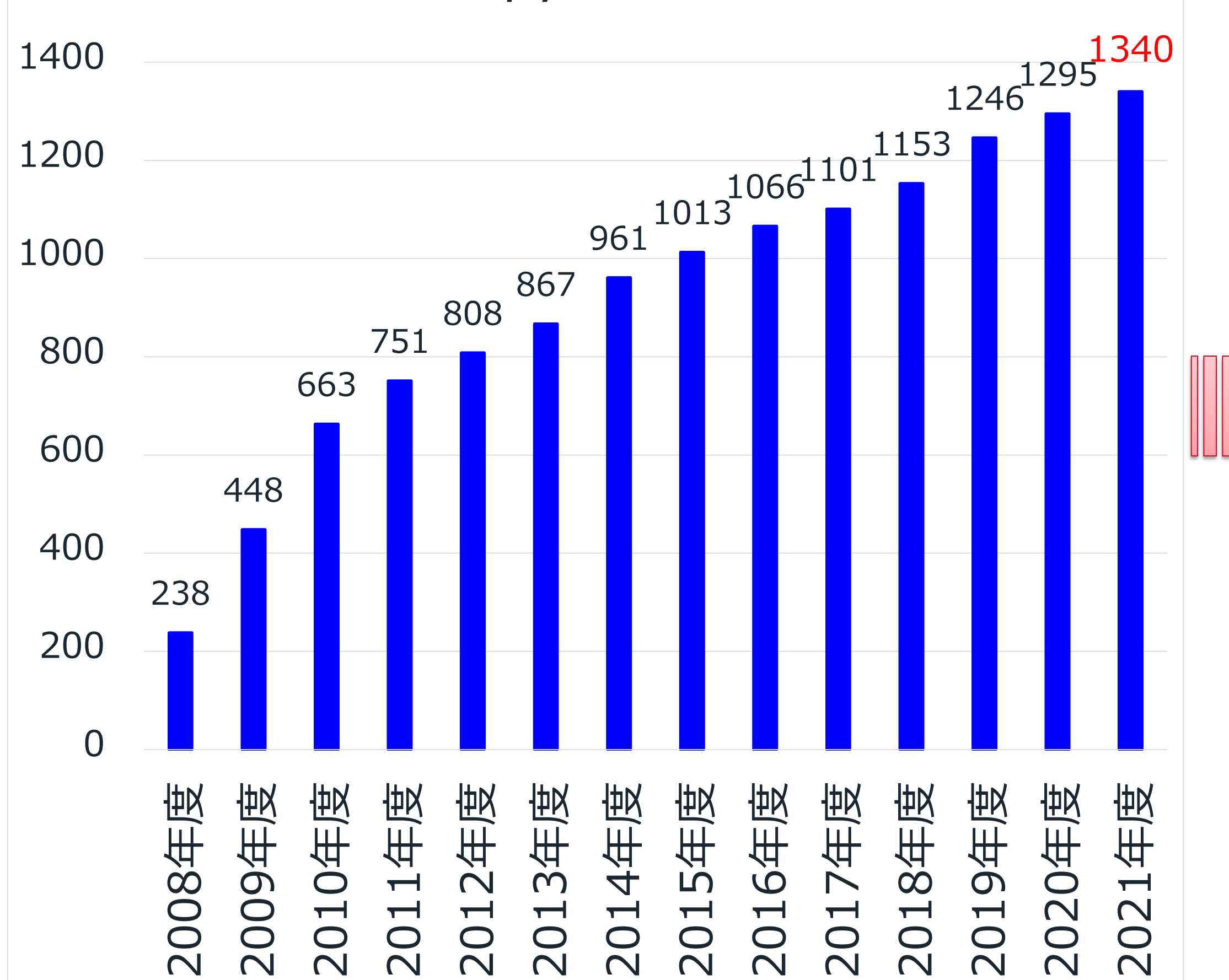
- ✓ 現在 5社が診断書デジタル化ソリューションを採用
- ✓ その他複数の生命保険会社にて採用検討中

1	A生命保険会社様 (2010年 5月 ~)
2	B 共済団体様 (2013年 4月 ~)
3	C生命保険会社様 (2016年 3月 ~)
4	D生命保険会社様 (2018年 1月 ~)
5	E生命保険会社様 (2018年 10月 ~)

MEDI-Papyrusとは

- 患者様から作成依頼される各種診断書の作成状況を適切に管理し、医師が文書作成する際の負荷を軽減するシステムです。
- 2006年1月より、診断書の作成・管理を支援システムとして全国の医療機関向けに販売を開始しました。診断書の発行枚数が多い急性期病院を中心に、全国1,300を超える医療機関で稼働中です。(2022年3月末時点)
- MEDI-Papyrusが提供する診断書様式は3,000様式以上。うち、保険会社様、共済様の診断書は約800様式にも上ります。

MEDI-Papyrus導入病院数



(2022年3月末時点)

診断書システムにおけるMEDI-Papyrusのシェア

<導入病院の病床規模>

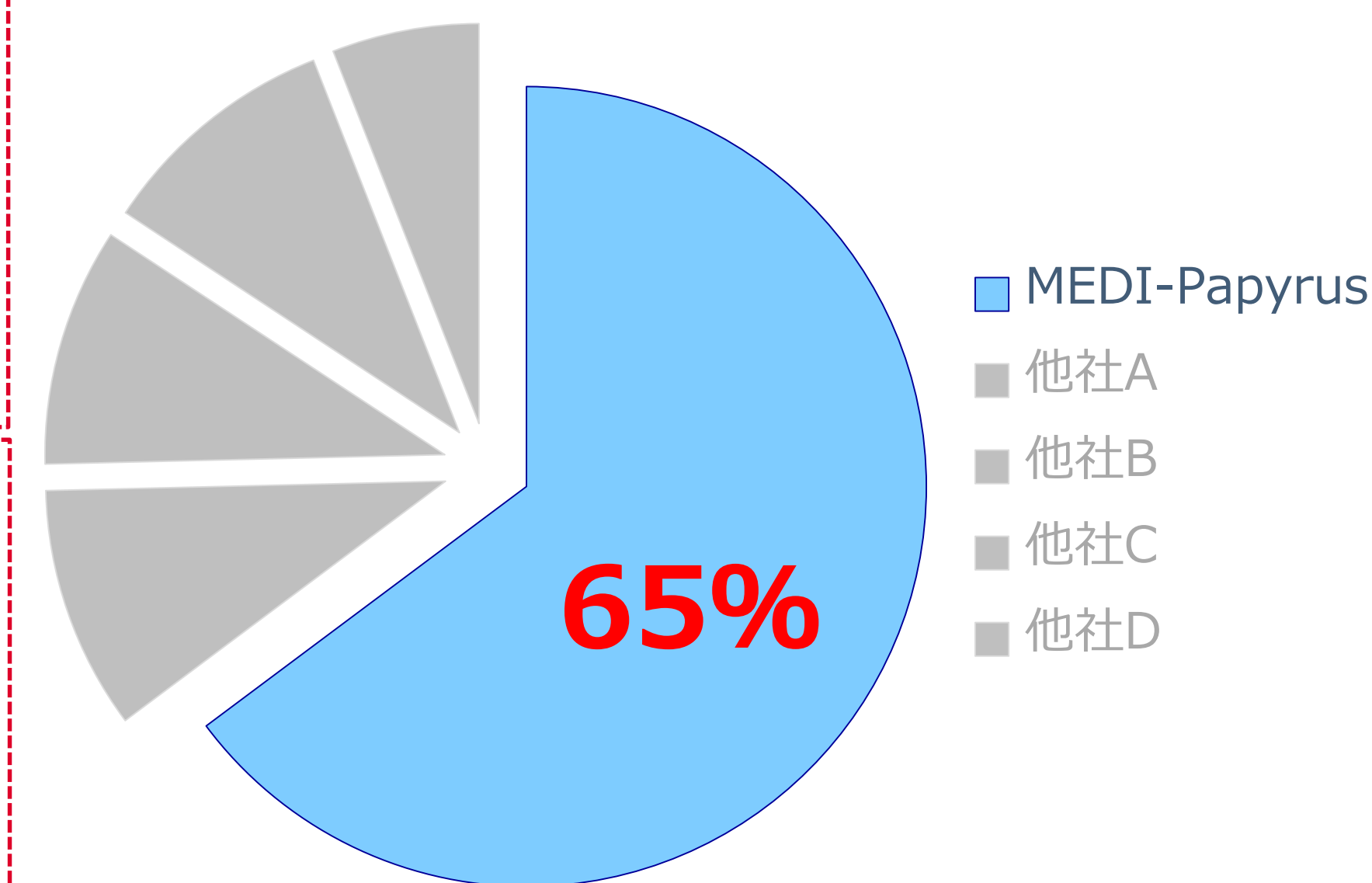
800床以上 : 39病院(49%)*

600~799床 : 79病院(52%)*

*病床規模別の病院数におけるMEDI-Papyrusの導入割合 (厚生労働省 令和2年(2020)年 医療施設(静態・動態) 調査(確定数)・病院報告の概況 より算出)

<導入病院の種類>

国立病院機構 : 85病院
 大学病院 : 63病院
 赤十字病院 : 40病院
 徳洲会病院 : 40病院
 済生会病院 : 37病院
 労災病院 : 16病院 など



(一般社団法人 生命保険協会様調べ 2022年3月末時点)

ニッセイ情報テクノロジー株式会社 ホームページ:<https://www.nissay-it.co.jp>

保険会社様窓口
 保険コンサルティング営業部 information@nissay-it.co.jp Tel.03-5532-3041

共済様窓口
 年金コンサルティング営業部 共済団体担当 information@nissay-it.co.jp Tel.03-5532-3042